

KISC

公益財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や研究開発に
取り組むあなたを応援します



夏号
2014

グローバル・オーシャン・
ワークス株式会社
代表取締役社長 増永 勇治さん

今号の表紙



製品（冷凍養殖ぶりフィーレ）

今号の表紙は、錦江湾の牛根沖などで養殖されている“鯛”を自社工場で独自の技術を用いて真空冷凍加工し、米国を中心に海外へ販売されているグローバル・オーシャン・ワークス株式会社代表取締役社長の増永勇治さんです。同社は、地域経済の発展・産業振興等の業績が認められ、第8回南日本経済賞や第2回そうしんビジネス・イノベーション大賞優秀賞を受賞されています。

◇国際基準で世界へ

鹿児島県の養殖ブリの生産量は日本一です。同社は、垂水市牛根に平成21年に工場を新設。目の前の生簀で養殖されたブリを輸送時間をかけずにHACCP対応加工場（衛生管理・温度管理等について国際的な基準を満たした施設）へ直ちに搬入して、3枚おろしたフィーレや4つ割りにしたロインなど10数種類の製品に冷凍加工しています。処理数は年間35万匹にも及び、製品は、主に海外（アメリカ7割、オセアニア1割など）に輸出されています。



製品検査

同社は、加工するブリについて、養殖管理システム（トレーサビリティ）を導入し、生産から加工場出荷までの各工程の情報を記録・管理するとともに、鹿児島大学との共同研究（品質評価方法の確立）や飼料メーカーと連携した同社独自の餌

グローバル・オーシャン・ワークス株式会社

代表取締役社長 増永 勇治

<企業概要>

所在地 垂水市牛根麓31-5
 設立 平成21年5月
 従業員数 40名
 TEL 0994-45-5552
 FAX 0994-45-5553
 URL <http://www.gow-co.com>
 E-mail info@gow-co.com

（安全安心の担保された）の開発など、これまでにない新たな養殖業の構築を目指しておられます。

◇今後の取り組み

ブリなどの魚については、和食が無形文化遺産に登録されたことや世界的な人口増加に伴うたんぱく源としてのニーズから、マーケットは世界中に拡大しています。そのため、かごしま産業支援センターの助成金を活用した新たな販路拡大や国際的基準に合致した衛生管理の高度化や、さらなる拡大としてのハラール認証を目指しています。

錦江湾は水深があり静穏な日本有数の養殖産地です。この環境を生かして、地元根差しながら、グローバル（世界に目を向けて）オーシャン（海に携わり）ワークス（加工はチームワーク）は、「初心忘れるべからず」の行動指針で、県の特産品のブリを国内はもとより、世界のテーブルに届けたいとお話でした。



HACCP 工場での加工

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 特集 よろず支援拠点開設
- 6 特集 県内2企業 九州ニュービジネス大賞等を受賞!!
- 7 わが社の輝く女性! (株)オーケー社鹿児島 中村 毎見さん
- 8 がんばる進出企業 (株)ハマ製作所
- 9 特集 かごしま産業支援センターの助成金の採択企業が決定しました
- 12 ベンチャープラザコーナー
- 15 取引振興コーナー
- 16 Information 発注情報、第10回かごしま産業技術賞の募集

私の 思い



株式会社 日本政策金融公庫
鹿兒島支店
支店長兼農林水産事業統轄

菊池 潤

昭和36年千葉県生まれ。
東京水産大学水産学部卒。
昭和60年4月農林漁業金融公庫入庫。
平成20年10月 日本政策金融公庫大分
支店農林水産事業統轄。
平成24年4月（公社）日本農業法人協
会専務理事に出向。
平成26年4月より現職。

政策金融を通じて鹿兒島県の地域活性化を応援

日本政策金融公庫の沿革

日本政策金融公庫（以下、日本公庫）の源は戦後の物資不足を克服して産業復興を図るために昭和22年に設立された復興金融公庫や国の特別会計による融資制度に遡ります。

政策金融に期待される役割は時の経済情勢に応じて見直されてきましたが、平成13年に発足した小泉内閣の下で進められた行財政改革・政策金融改革では、民間金融機関の充実した機能に配慮のうえで、政策金融はその補完的機能に徹して効率的な運営を図ることとされました。

日本公庫はこうした国の方針に即して、平成20年10月に設立され、廃止された旧3公庫（国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫）の業務の一部を引き継ぎました。

お客さまと地域の力になれる業務運営を

日本公庫は組織の基本理念として「政策金融の的確な実施」と「ガバナンスの重視」を掲げています。特に、お客さまサービスに直結する「政策金融の的確な実施」については、お客さまを取り巻く経営環境の変化や災害などに対するセーフティネット機能を発揮するとともに、政府が進める成長戦略の推進を図るために、創意工夫に溢れ

た種々の取り組みを支援することが柱となります。さらに、融資業務だけでなく、経営へのさまざまなアドバイスや輸出促進を含めた販路拡大のためのサポートなどにも力を注いでいるところです。また、鹿兒島の地域活性化のために、県や市町村、関係団体が推進するプロジェクトにも積極的に協力してまいります。

地域金融機関と連携した活動を重視

日本公庫は鹿兒島支店をはじめ県内に3支店を配置し、互いに協力して経営サポート機能を高めるべく運営しています。

特に、鹿兒島支店は、国民生活事業（事業統轄：中野則文）、農林水産事業（支店長兼事業統轄：菊池潤）及び中小企業事業（事業統轄：神庭義明）の3事業すべてを担っております。

地域金融機関が成長戦略分野を積極的に支援していますので、日本公庫鹿兒島支店をはじめ3支店は地域金融機関との連携を一層心がけて、民間金融を補完しながら一緒になって鹿兒島県の商工業、農林水産業を応援しなければなりません。

桜島に見える風景、群島の多様で豊かな自然は国の大きな財産です。この土地で営まれ発信される経済活動が新たな付加価値を生み出すことを期待しています。

日本公庫の業務内容と鹿兒島県内の支店配置

日本公庫の部門	業務内容	鹿兒島支店	鹿屋支店	川内支店
国民生活事業	小規模事業者や創業企業への融資業務、教育ローン	○	○	○
農林水産事業	農林漁業や食品産業への融資業務	○	×	×
中小企業事業	中小企業者への融資業務	○	鹿兒島支店に取次ぎ	
	信用保証協会に対する保険引受等		×	×
危機対応円滑化業務	金融機関への信用供与（資金供給）	（注）本店で対応する業務		



成果が出るまでしっかりとサポート！相談は何回でも無料！

よろず支援拠点 開設

「鹿児島県よろず支援拠点」が、かごしま産業支援センター（県産業会館1階）に開設し、6月30日から業務を開始しています。

支援拠点では、4人のコーディネーター等が、中小企業等の方々の売上拡大に関する相談など経営上のあらゆるご相談に何回でも無料で応じております。

8月6日、開設を記念して、富士市産業支援センター f-Bizセンター長の小出宗昭氏を招き、「強みを生かして挑め！～中小企業の成功事例から学ぶ売上UPへの道～」と題して講演会を行いました。売上アップのポイントや企業が持つ強みを生かした新規ビジネスの成功事例について、説明がありました。



支援内容 (3つのミッション)

- 総合的・先進的アドバイス ⇒ 解決が困難な経営相談に応じるとともに、継続的にフォローを行います。
- チーム編成を通じた支援 ⇒ 支援機関・専門家がチームを組んで支援します。
- ワンストップサービス ⇒ 経営課題に応じた的確な支援機関等を紹介します。

【相談日】月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分（祝祭日、年末年始を除く）

◇大隅よろず相談窓口（鹿屋市産業支援センター内に開設）

【相談日】毎週金曜日 午前10時～午後4時（祝祭日、年末年始を除く）

コーディネーター紹介

<コーディネーター>

カトウ タケン
加藤 剛



（創業、マーケティング、
海外展開）

～事業者の皆様へ！～

鹿児島県よろず支援拠点は、中小企業や小規模事業者の様々な悩みに応え、適切で実効性の高い支援を行うことを目指しています。

私は、名古屋で中小企業向けの国内外マーケティング会社を運営し、また、中部経済産業局や中小企業基盤整備機構でアドバイザーとして中小企業の売上拡大や販路開拓等を支援してまいりました。これまでの経験やノウハウを活かして、成果が出るまで、事業者の立場に立ったきめ細かい実践的な支援を行ってまいります。お気軽にご相談ください。

<サブコーディネーター>

サカグチ ヒロユキ
坂口 弘行



（産学官連携・ものづくり）
支援（農林水産関係）

ヤマノエ キヨコ
山之江 清子



（経営革新・ものづくり支
援・助成制度活用関係）

ハゼヤマ ヨシヒサ
樋山 義久



（商品開発・農商工連携）
・デザイン企画関係

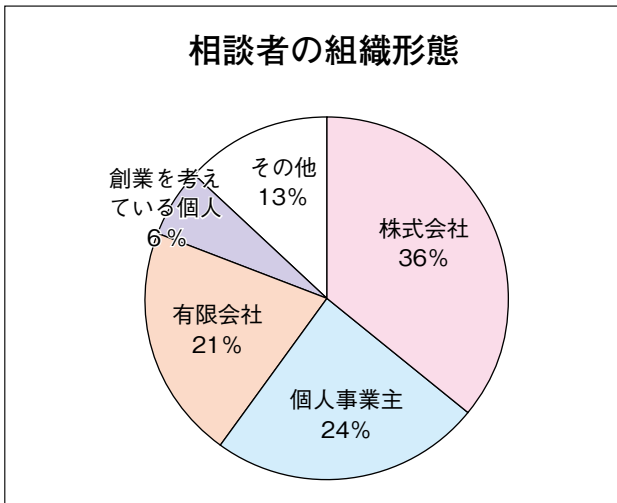
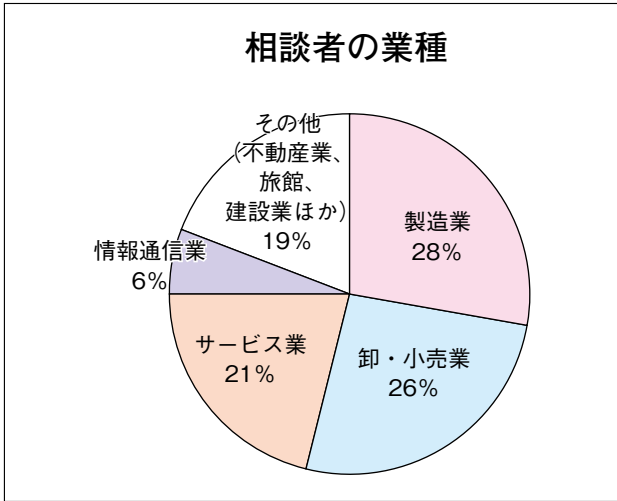
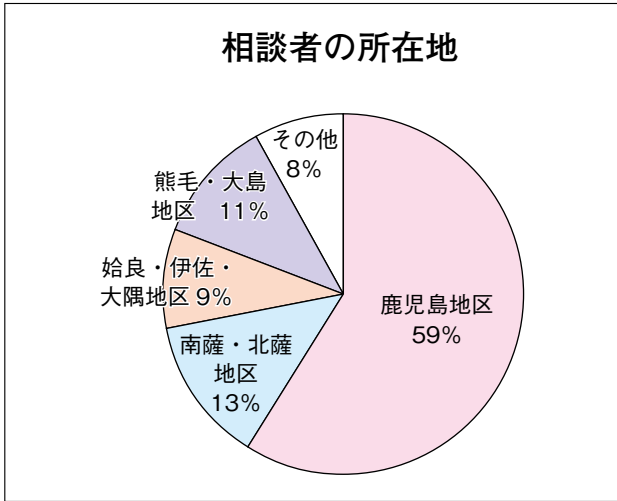
よろず支援拠点の相談状況

開設から1ヶ月間で県内各地の134事業者から168件の相談をお受けしました。

相談者の業種は、製造業や卸・小売業、サービス業をはじめとして多岐にわたっており、また、個人事業主や創業を考えている個人からの相談も多数受けております。

相談内容は、売上拡大が約4割と最も多く、次に創業や経営改善、資金繰り、地域資源活用などとなっており、その他様々な相談が寄せられております。

今後、県内各地で経営課題に即したセミナーや出張相談会を逐次開催します。お気軽にご参加ください。



相談内容

1	売上拡大	39%
2	創業	10%
3	経営改善	7%
4	資金繰り	7%
5	地域資源活用	6%
	ものづくり	5%
	IT活用	4%
	事業再生	4%
	デザイン	2%
	広告戦略	2%
	海外販路開拓	1%
	農商工連携	1%
	雇用・労務	1%
	事業承継	1%
	知的財産	1%
	新連携	1%
	その他	7%

(平成26年7月末現在)

ご相談の流れ



◆ 相談申込み・問合せ先

鹿児島県よろず支援拠点

所在地：〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館1階

電話：099-219-3740 FAX：099-223-7117

E-Mail：yoroazu@kric.or.jp

県内2企業 九州ニュービジネス大賞等を受賞!!



「九州ニュービジネス大賞」各賞受賞者のみなさん
中央が交和電気産業(株)竹中取締役室長
右から3人目が(株)アーダン西代表取締役

(一社)九州ニュービジネス協議会の「平成26年度九州ニュービジネス大賞表彰」において、交和電気産業株式会社(本社：出水市)が最高賞である九州ニュービジネス大賞を受賞されたほか、株式会社アーダン(本社：奄美市)が優秀賞を受賞されました。

大賞の受賞は、平成16年の創設以来、鹿児島県からは初めてであり、大賞の表彰自体も6年ぶりとなりました。

両企業とも、当センターの助成金の活用や、ベンチャープラザ鹿児島二水会での発表などを行っていただいております。様々な形で当センターも支援・協力をさせていただきました。

今回の受賞は、当センターとしても非常に嬉しい出来事であり、これを機に両企業が今後益々ご発展されますとともに、これに続く企業が出てくることを期待しています。

●九州ニュービジネス大賞 (九州で1社のみ) 交和電気産業株式会社 代表取締役 藤井 敏

所在地：出水市高尾野町唐笠木1817-1
設立：昭和55年12月

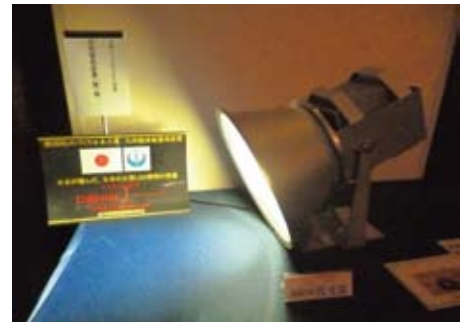
タイトル：単一光源・面発光方式の大光量LED照明の開発・設計、生産、販売と受託生産事業

商品特徴：他社大型LED照明は、光源を分散配置し、光が広がらず、遠くまで届かない等の問題があった。

単一光源・面発光方式の大光量LED照明は、LEDを狭面積・高密度に実装し光が一番強い所で積算させることで、大光量を得るとともに独自開発の高効率熱拡散・排熱構造によりヒートスポット発生を抑制することで問題を解決した。



鹿児島県から初の大賞受賞!



独自開発の高効率熱拡散

●優秀賞 株式会社アーダン 代表取締役 西 博人

所在地：奄美市名瀬和光町7-8
設立：平成7年7月

タイトル：生体親和性の高いシルクを主原料にした化粧品・医薬部外品の製造販売

商品特徴：オリジナル技術による、シルク主原料、高配合のシルク化粧品は、医薬部外品製造の許認可を受けた国内自社工場で生産。

また、シルクには、シワ、保湿、スムージングといった肌のエイジングへの有用性や皮膚の再生促進に効果的であるという結果がでており、今後、高機能化粧品や医療素材への応用に向け、研究を行っている。



化粧品はのべ50万人以上が愛用



アンチエイジング効果も検証中

わが社の輝く女性！

今号は、工業計器・環境計測器・産業用機器等の製造・販売・メンテナンスまで付加価値の高い製品・サービスを目指す(株)オーケー社鹿児島の企画総務課長の中村每見さんです。



株式会社オーケー社鹿児島

本社：鹿児島市西千石町4-1
工場：始良市三拾町1397-2
設立：平成20年2月
従業員数：43名
TEL：099-222-1893
FAX：099-222-1899
URL：<http://o-k-kagoshima.jp/>

なかむら まいみ
中村 每見 取締役
企画総務課長

鹿児島市出身
鹿児島大学理学部物理学科卒
平成23年入社
昭和52年生まれ みずがめ座
◇休日は音楽鑑賞や読書等でゆっくり過ごすことが多いですが、ゴルフやライブに出掛けるのも楽しみのひとつです。

◇会社紹介

弊社は、平成20年に地場に根付いた企業を目指して設立され、工業用・環境用の計測機器、産業機器等を中心とした販売やメンテナンス等を主にしていますが、平成24年にこれまでの“制御”のノウハウをもとに、本格的なものづくり拠点として、始良市に工場を建設しました。現在、各種自動機や制御盤、監視装置、バイオマスボイラー、乾燥機、恒温室等を製作しています。



PM 2.5 測定局舎

自動機

◇会社での担当部署は

小さな会社なので、総務・経理・労務から広報、営業サポートまで、専門的な技術職以外は何でも一般的にやっています。たとえば、展示会や企業交流会等で、自社製品等のPRを担当しています。

◇入社きっかけは

入社する前の、テレビ放送技術関連会社に在職当時、“地上波デジタル放送”への移行が一段落したのを機に、地元鹿児島に帰りたい、という気持ちがでてきたこと、“ものづくり”が好きだという気持ちが強くなり、未経験の業種ではありましたが、弊社に入社させていただきました。

◇仕事上での印象深い体験談など

一昨年(平成24年)に始良市に工場を建設したことが一番印象深いです。

“お客様からの要望もあるから、工場を建てたいな”という社長の一言がこんなに早く現実になるとは思っていませんでした。ゼロから工場を建設するということが、大変貴重な経験でした。その際は、鹿児島県と始良市と立地協定を締結し、様々なご支援やご協力を賜り、大変感謝しております。

また、弊社初の自社開発製品となるバイオマスボイラーの開発には、かごしま産業支援センターのご支援をいただきました。

この開発したボイラーは、高断熱・高蓄熱なボイラーとして大変ご好評いただいております。事業成果報告会や県工業技術センターの研究成果報告で発表させていただきました。今後も魅力的な開発にどんどんチャレンジしていければと思っております。



自社開発したバイオマスボイラー

◇心がけていることは

社員のほとんどが、スペシャリストで、ひとつの事に取組む場合でも、様々な意見が出てきて、時には衝突したりもしますが、いい意味でお互いが刺激し合える職場環境だと思います。まだまだ未熟な会社ですが、私にとって社員ひとりひとりが財産であり、大切な存在だからこそ、このメンバーと一緒に働ける“今”を、大切に共有しながら、「いつまでもこの会社で働きたい」と思ってもらえる会社作りを常に心がけています

がんばる進出企業

■会社概要

株式会社ハマ製作所は、昭和32年東京都大田区で創業しました。当初は、ゲートカット機の製造が主でしたが、ニーズに対応して、組立装置を開発しながら様々な分野に進出し、現在は、製造機器、産業ロボット等を自社開発・製造しています。平成3年に坊津町に鹿児島工場を建設し、製造部門を集約しています。

■鹿児島進出の理由

当社の創業者である濱口純一会長が坊津町の出身で、誘致のお話があり、坊津町に工場を操業しました。鹿児島進出を機に事業品目を拡充させ、産業自動機器の開発に取り組んでいます。

■当社の優れた技術

当社は、産業用自動装置を生産する工程を90%以上内製化で行えるため、得意とするカスタマイズ化を活かし汎用性のある装置の製品化を実現しています。昨年、スマートフォン用の高画素カメラレンズの組立装置を開発し、国内、中国、韓国、台湾にも特許を出願しました。レンズ組立にはミクロン単位の精度が求められますが、その精度検証機械をかごしま産業支援センターの助成金を活用して導入し、視察に訪れた海外からの関係者に試作機で作ったレンズを検査してみせ、その性能を評価してもらいました。その結果、今年、台湾企業へ1台納入しました。近々数台納入予定です。



スマートフォン用高画素カメラレンズ組立装置

また、医療用、飲料、シャンプーなどの容器はリサイクル性もあり、詰め替え容器が主流になっており、口栓をパウチに溶着する全自動スパウト溶着機も、顧客の様々な仕様に合わせて製造しています。こちらも、国内の大手企業を含め注文をいただき、高い評価を得ています。

株式会社ハマ製作所

株式会社ハマ製作所

代表者：代表取締役社長 尾崎 京子

本社：東京都大田区下丸子4-4-19

鹿児島工場：南さつま市坊津町泊8303

設立：昭和32年

資本金：4,000万円

従業員数：51名

事業内容：産業自動機器、電気電子、医療、食品、農業関連自動機の製造販売

TEL：0993-67-0144 FAX：0993-67-0151

URL：<http://www.hama.co.jp/index.html>

■当社の経営理念

常に時代の流れに柔軟に対応できる体制を整え、装置の安定性、操作性、生産性に優れた高品質な自動化装置の販売を行い、同時にグローバル市場でのブランド化を目指しています。



工場内観

■今後の展望・抱負

スマートフォン用高画素組立装置は、Apple や三星など海外の携帯メーカーにも販売していこうと思っています。

近年、当社では、数名ずつ新入社員を採用しており、設計・ソフトウェア・組立・電機・加工・板金・塗装といった各分野の当社のDNAが受け継がれるよう「人材育成」にも努めたいと思っています。10年・20年後も当社の技術を保持すると同時に新たな技術の開発向上を図り、日本企業の誇りを持って、当社のますますの発展に繋げてまいります。



株式会社 ハマ製作所



平成26年度 公益財団法人 かがしま産業支援センター 助成金の採択企業が決定しました！

54件 助成金総額は 1億9,010万4千円

本年8月末までに採択を決定したもの（一部の事業を除く）です。
なお、一部の助成金については追加募集いたします。詳しくは、ホームページでご確認下さい。

研究開発助成金

県内中小企業のものづくり技術の高度化、新製品開発能力の向上などにつながる研究開発に対して、研究経費の一部を助成するものです。（募集期間：4月1日～5月9日）

かがしま産業おこし挑戦助成金

自動車・電子・食品・成長産業関連の戦略的産業振興分野及び地域資源活用・農商工等連携分野、新事業開拓分野に係る中小企業の新事業創出の取組みを助成するものです。（募集期間：4月1日～5月9日）

地域中小企業外国出願助成金

国際的な事業展開や知的財産権侵害品へ対応するため、戦略的な外国への特許出願等に対し助成するものです。（募集期間：5月12日～6月13日）

高付加価値商品開発・販路開拓等助成金

付加価値の高い商品づくり（商品の開発・改良や国際的な商談会への試作品出展等）を行う県内の食品関連事業者に対し助成するものです。（募集期間：6月18日～7月18日）

【研究開発助成金】

○新事業研究開発助成事業（4件 助成金総額 5,985千円）

技術高度化を志向する中小企業等の研究開発等に要する経費の一部助成（1社当たり877～1,859千円）

企 業 名	テ ー マ
松元機工(株) (南九州市)	トラクタアタッチ型カンゾウ根掘取機の開発
(株)エルム (南さつま市)	いけすモニタリングシステムの開発
太陽ガス(株) (日置市)	小流量・低落差でも発電可能な螺旋式マイクロ水力発電装置の開発
アクアブルー(株) (垂水市)	ブリの加工残渣の有効活用

○重点業種研究開発支援事業（3件 助成金総額 10,576千円）

自動車、電子、新成長分野関連産業に係る新技術・新製品の研究開発に要する経費の一部助成（1社当たり2,577～4,000千円）

企 業 名	テ ー マ
薩摩酒造(株) (枕崎市)	高機能性麴食品素材化のための実用化研究
九州化工(株) (鹿屋市)	クエン酸発酵技術を応用した新規機能性果汁発酵品の開発
(株)秦野精密 (さつま町)	革新的歩留り改造を目的としたトランスファー冷間鍛造による自動車用機構部品の開発

○新分野参入研究開発助成事業 (1件 助成金額 3,415千円)

企業撤退等の影響を受けた県内中小企業者が新分野への参入等を図るための研究開発に要する経費の一部助成

企業名	テーマ
テックス(株) (さつま町)	表面処理部品の精密洗浄分野への参入



26年度研究開発・かごしま産業おこし挑戦助成金
新規支援決定企業のみなさん

【かごしま産業おこし挑戦助成金】

○中核的企業創出プログラム事業 (6件 助成金総額 27,874千円)

経営計画の作成、計画の実施に要する経費の一部助成 (1社当たり 2,729 ~ 6,000千円)

企業名	テーマ
南薩食鳥(株) (南九州市)	ハラル処理した鶏肉のミート及び加工品の販売
小城製粉(株) (薩摩川内市)	欧米・アジア諸国への販路展開を目指した国産米粉の安全性・国際規格化に向けてのエビデンスの確立と新商品開発
マトヤ技研工業(株) (曾於市)	食肉生産現場における重労働の軽減と生産性を向上させる食肉処理機器の開発
(株)アーダン (奄美市)	シルクを主原料とした医薬部外品の製造とブランド構築による販売体制の確立
(有)K・アクセス (鹿児島市)	キャンピングカーという概念に捕らわれず、旅をする事・移動する事務所等、エンドユーザーのニーズに合わせたコンセプトカーの製造販売
交和電気産業(株) (出水市)	大型LEDアレイモジュールを搭載した照明の開発・製造・販売

○地域資源活用起業家支援事業 (2件 助成金総額 5,706千円)

起業に向けた新商品・新サービスの開発、販路開拓等に要する経費の一部助成 (1社当たり 2,706 ~ 3,000千円)

企業名	テーマ
(株)美ごしか (始良市)	米丸温泉と火山灰白土を成分とした真に地肌に優しいヘアケア商品の企画・販売
(有)環境システム (鹿屋市)	地域資源を活用した着地型旅行の企画実施

○地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業 (6件 助成金総額 12,385千円)

事業化や農商工等連携の取組に要する経費の一部助成 (1社当たり 1,582 ~ 3,000千円)

企業名	テーマ
(株)YSフーズ (鹿児島市)	鹿児島県産養殖魚の内臓を有効活用した「ホルモン」等の商品開発と販路拡大
鹿児島製茶(株) (鹿児島市)	べにふうきを用いた新商品の開発
(株)唐船峡食品 (指宿市)	ソフトさつま芋チップの研究開発及び販売展開
(株)福山物産 (霧島市)	鹿児島の特産品『黒酢』と地域の農産物を活用した新しいスイーツの商品開発及び販路開拓
(有)興袖商店 (龍郷町)	大島紬ハイブランド洋装品の開発
上原産業(有) (南九州市)	澱粉粕と鶏糞による連続発酵肥料化の研究

【地域中小企業外国出願助成金】

○地域中小企業外国出願支援事業（6件 助成金総額 4,517千円）

外国の特許出願等に要する経費の一部助成

（1社当たり 182～1,500千円）

区 分	企 業 名	テ ー マ
特 許	(株)ヨシカワ（薩摩川内市）	粉粒体供給機における気体送給装置
	三州産業(株)（鹿児島市）	青果物用蒸熱処理装置
	ポスティング(株)（霧島市）	ゴルフクラブヘッド・ゴルフクラブ
	新洋水産(有) （いちき串木野市）	血合肉を利用したすり身製品、血合肉を利用した練り物製品、血合肉を利用したすり身製品の製造方法及び血合肉を利用した練り物製品の製造方法
実用新案	(有)匠産業 S.L.E（鹿児島市）	給餌装置
商 標	枕崎水産加工業(協)（枕崎市）	枕崎鰹節 MAKURAZAKIKATSUOBUSHI（マーク）

【高付加価値商品開発・販路開拓等支援事業助成金】

○かごしまの「食」付加価値向上対策事業（26件 助成金総額 119,646千円）

食品関連事業者が行う新商品開発など付加価値向上等に要する経費の一部助成

（1社当たり 2,024～9,438千円）

企 業 名	テ ー マ
アクアブルー(株)（垂水市）	県産ブリ加工製品（チルド）の海外販路開拓・拡大
アネット(有)（鹿屋市）	生姜ごぼう茶、青汁素材（すいおう）を活用した商品開発・販路開拓
(株)オキス（鹿屋市）	乾燥野菜を生かした機能性便利食材商品開発・販路拡大
(株)海幸（鹿児島市）	手軽に食べられる水産加工商品の開発・改良
(有)かごしま有機生産組合 （鹿児島市）	県産有機農産物を使った野菜スイーツの開発・販路開拓・拡大
(株)河内源一郎商店（霧島市）	茶麴を使用した粉末調味料の開発
グローバル・オーシャン・ ワークス(株)（垂水市）	県産ブリ加工製品（冷凍）の海外販路開拓・拡大及び品質向上技術の開発
(有)三清屋（鹿屋市）	黒豚バーベキューセット等の商品開発・販路開拓
(株)しか屋（鹿児島市）	納豆サプリメント及びサプリ食納豆の商品開発・販路開拓
(株)下堂園（鹿児島市）	県産柑橘類・トロピカルフルーツ等を活用したボタニカル茶の新商品開発
(有)徳重製菓とらや（霧島市）	焼きたて菓子の商品開発・販路開拓
(株)ナカシン冷食 （いちき串木野市）	高付加価値商品（包あん等）開発・販路開拓
南薩食鳥(株)（南九州市）	種鶏肉等のハム、ソーセージ及びレトルト商品開発・販路開拓
南州農場(株) （肝属郡肝付町）	新規乳酸菌を用いた黒豚肉発酵食肉製品開発・販路開拓
(株)にいやま園（日置市）	県内茶の産地の特徴を生かした商品開発・販路拡大
日本有機(株)（曾於市）	黒薩摩鴨の高付加価値化商品開発・販路開拓
(株)ヒガシマル（日置市）	ぶり類（カンパチ、ハマチ）の適性配合飼料の開発
日高水産加工(有) （いちき串木野市）	未利用資源（魚・農産物）を活用した商品開発・販路開拓
(株)風月堂（鹿児島市）	さつまいもショコラの商品開発・販路開拓
福山黒酢(株)（霧島市）	壺づくりの黒酢とその醸造技術を活用した発泡性飲料の開発
合同会社 岬 （肝属郡南大隅町）	高齢者向け豚肉商品及び健康ジュースの商品開発・販路拡大
八千代伝酒造(株)（垂水市）	芋焼酎八千代伝の海外販路開拓
(株)ヤマカ（薩摩川内市）	鯨肉の販路拡大及び生たこの新商品開発・販路拡大
(有)やまた水産食品 （阿久根市）	多獲性魚「イワシ類」の高付加価値商品開発・販路拡大
吉村醸造(株)（いちき串木野市）	みそ・しょうゆ・食酢・ソース以外の調味料の開発・販路拡大
(株)YSフーズ（鹿児島市）	屋久島トビウオを始めとする離島水産物の高付加価値化・販路拡大

ベンチャープラザコーナー

第61回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

平成26年5月14日（水）鹿児島市において開催し、県内の3社と県外の1社にビジネスプランを発表していただきました。（発表企業累計200社、うち県内企業146社）

県内企業の発表は、藤安醸造株（有）エール、日本澱粉工業株（有）の3社からそれぞれの自慢の逸品を披露していただきました。100名を超える参加者は、発表に興味深く耳を傾けるとともに、質疑応答も活発で盛況な会となりました。

○発表その1 鹿児島県産地鶏である「黒さつま鶏」を活用した新商品開発と販路開拓

（藤安醸造株式会社）

藤安醸造株式会社

代表取締役社長 藤安 秀一
鹿児島市谷山港2-1-10
TEL：099-261-5151
FAX：099-262-1357
URL：http://www.hishiku.co.jp/



発表する
二宮取締役製造部長



味噌飴 ～黒さつま鶏スープ入り～
鹿児島の麦みそと鹿児島生まれの黒さつま鶏スープを使用し、隠し味に当社の旨み成分（アミノ酸液）が入った味噌飴です。口に含むとお味噌の風味がほんのり広がり、懐かしさを感じる飴に仕上がっております。



奄美伝承 鶏飯
（フリーズドライ5個入り）
あっさりとしたうま味のある濃厚鶏ガラスープに、ネギ・シイタケ・ごまを盛り、具だくさんに仕上げました。温かいご飯の上のせ、お湯を注ぐだけでおいしくいただけます。



野菜のおいしさ引き出すスープ（液体濃縮タイプ）
鶏ガラ・塩麴（こうじ）・生姜みその3種類あり、野菜のおいしさを引き立てながら、スープの旨みが味わえます。カップにお湯を注ぐだけで、簡単にスープが作れ、野菜を入れて煮込むと、野菜スープが出来上がります。

発表内容（販路拡大・業務提携）

＜企業紹介＞

藤安醸造株式会社は、創業明治3年（1870年）以来、味噌、醤油、食酢等の調味料を通して、鹿児島の味の黒子的存在として、鹿児島の食文化を永きに亘り、支えてきております。一般家庭に始まり、料飲店、ホテル、産業給食、食肉・水産加工場における製品の味つけ、色々な分野で『味の創出』の一助として当社は必要とされ、存在している会社であります。

＜商品開発のきっかけ＞

鹿児島県が、既に全国的なブランドである『黒牛』『黒豚』に続く新たな県産ブランドとして、鹿児島の『黒』をアピールできる『黒さつま鶏』を誕生させました。この黒さつま鶏を商品開発の差別化戦略の一素材として活用できないか検討し、当社保有の技術を活かし「黒さつま鶏ガラエキス」の抽出と、これを使用した商品を開発し販売を行っております。

＜商品の特徴＞

黒さつま鶏からスープの特徴は、十分な旨みに比べて苦みや渋みなどのクセが少ないことです。この特徴を活かして、開発した商品の3品を紹介いたします。

発表後の成果・感想

二水会での発表により貴重なご意見やアドバイスを頂く事ができ、また、自社商品をあらためて見直す良い機会にもなりました。

今後の展望

国内外での販路拡大を目指し、食品展示会等にも積極的に参加したいと考えています。また、専門家のご協力をいただき、今後も、「黒さつま鶏」関連の新商品開発を継続し、新たな収益の柱に成長させ、本県産業の活性化に寄与できるよう努力してまいります。

○発表その2 竹炭効果で、抗菌・消臭力UPした男性用洗顔泡立てネット「アワラボ」
(有限会社エール)

有限会社エール

代表取締役 倉本 哲
指宿市開聞十町129-2
TEL : 0993-32-3591
FAX : 0993-32-3862
URL : http://yell-yell-yell.jimdo.com



発表する
倉本代表取締役

この高機能性ネットで作られた“アワラボ”は、男性用洗顔泡立てネットとして、弊社の新たなブランドとして創出し、昨今急成長を成し遂げている男性美容市場へ提案することになりました。男性も美容を気にする時代、顔のケアは男の永遠の悩みだが、水洗いではケアは落ちない。ケアを落とすのは泡なのだ！そんな泡が簡単&スピーディーに作れる、男の為の洗顔ネット“アワラボ”の誕生です。ユーザー層は男性ですが、購買層は女性。夫、父、息子、彼女へ女性からのプレゼントにいかがでしょうか？

発表内容（販路拡大・業務提携）

《企業紹介》

平成3年 指宿・開聞で工業用センサの組立・検査事業として創業。平成17年より新規事業として、地域特産品“オクラ”包装資材ネットの製造・販売を開始、その後ネット製造技術の応用展開として、平成22年より洗顔用泡立てネットの企画・製造・販売に取り組んでおります。

《商品開発のきっかけ》

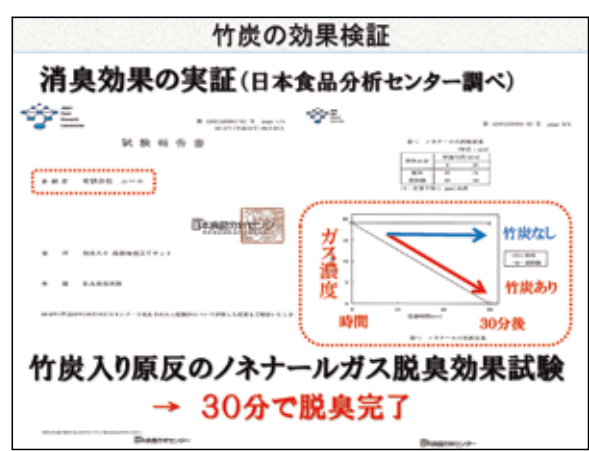
洗顔ネットを使用後、お風呂場など湿潤な環境で保管すると、ネット自体に菌の繁殖や悪臭など、衛生面での不安があるとの意見が…これを解決する為、竹炭を練り込み、竹炭効果そのもので、抗菌・消臭効果をUPした洗顔ネットの開発に着手しました。



アワラボ
awa (泡) + LAB. (laboratory)

《商品の特徴》

鹿児島県産孟宗竹を1000～1200℃で高温炭化しパウダー化したものを一体成型した特殊ネットです。ネット自体に竹炭を練り込むことによって、臭いの元となる有機物を吸着する効果や、菌が繁殖しやすい弱酸性の環境を、弱アルカリ性である竹炭により、菌を抑制する効果を発揮することが確認され、このことは日本食品分析センターで実証確認済であります。



竹炭の効果検証
抗菌効果の実証(日本食品分析センター調べ)

表-1 試験片の生菌数測定結果

試験菌	測定	試験片	試験片1個当たりの生菌数		
			測定-1	測定-2	測定-3
黄色ぶどう球菌	検体直後	基準	1.9 × 10 ⁵	1.8 × 10 ⁵	1.8 × 10 ⁵
	35℃ 24時間後	竹炭あり	2.9 × 10 ³	6.5 × 10 ³	9.8 × 10 ³
		竹炭なし	7.7 × 10 ⁵	1.1 × 10 ⁶	8.6 × 10 ⁵
大腸菌	検体直後	基準	2.5 × 10 ⁵	2.3 × 10 ⁵	2.9 × 10 ⁵
	35℃ 24時間後	竹炭あり	3.7 × 10 ⁶	7.3 × 10 ⁶	1.4 × 10 ⁶
		竹炭なし	1.7 × 10 ⁷	1.3 × 10 ⁷	2.0 × 10 ⁷

黄色ぶどう球菌: *Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* NBRC 12732
大腸菌: *Escherichia coli* NBRC 3972
無加工試験片: ポリエチレンフィルム

黄色ぶどう球菌 → 減少
大腸菌 → 増加を抑制

発表後の成果・感想

二水会発表後の質問や懇親会の席で、技術的課題の解決策や、新たな素材での新提案、ITを活用した情報発信等、喫緊の取り組みについて多くのアドバイスを頂きました。心より感謝申し上げます。

今後の展望

混練技術を活かし、イノシシやシカが嫌う臭いを練り込むことにより、動物を寄せ付けない防獣ネットの開発等、新たな分野への展開にも取り組んで参ります。

○発表その3 機能性水あめ「アンヒドロース®」の用途拡大

(日本澱粉工業株式会社)

日本澱粉工業株式会社

代表取締役社長 比良 正
 鹿児島市南栄三丁目20番地
 TEL : 099-260-8816
 FAX : 099-284-5680
 URL : <http://sunus.co.jp>



発表する
吉永開発研究部次長

例えば、冷やし中華の麺に添加すると色合いが鮮やかになります。この写真は、アンヒドロース入りと通常の中中華麺の麺帯（麺に細断する前のシート）を示しています。アンヒドロースを添加したものは、未添加のものとは比べ、黄色のおいしそうな鮮やかな色となります。

また、マッシュポテトに添加すると抗菌的に作用することで、微生物が増えにくくなり、腐敗までの時間が約2倍に伸びます。このようにアンヒドロースは食品として安心・安全な素材でありながら、微生物の増殖を抑えたり、変色を抑えたりと、食品に添加することで、その食品のおいしさをより長く保つことができます。

発表内容（販路拡大・業務提携）

《企業紹介》

弊社は昭和11年に鹿児島で甘藷澱粉の製造を開始し、その後、澱粉を分解して生産できる糖類製品も製造してまいりました。現在では、原料はトウモロコシへと変わり、製品は食品を中心とし様々な用途に利用されるようになりました。現在も発展を目指し、澱粉利用拡大に向けた研究開発に力を注いでおります。

《商品開発のきっかけ》

鹿児島大学より澱粉からアンヒドロフルクトース（1,5-AF）を作る酵素が報告されたことを聞き、共同研究をすることとなりました。アンヒドロフルクトースの生産法を開発し機能を探索しながら、新製品「アンヒドロース」を開発できました。



製品は 10kg ずつ充填して販売

《商品の特徴》

1,5-AF を主成分とするアンヒドロースは、従来の糖類製品にはない機能を有します。具体的には、抗酸化性、抗菌性、高い着色性を示し、食品のおいしさや食品安全に貢献できます。



中華麺の麺帯による色調比較

発表後の成果・感想

発表を聞いてくださった多くの方がアンヒドロースに興味を持っていただき、数社でアンヒドロースをテストしていただくこととなりました。

また、二水会の懇親会の席では多くの方からアンヒドロースの用途についてアイデアを頂きました。

今後の展望

国内の市場で新たな用途を拡大することや、アメリカやアジアなどへの海外展開を目指します。

1

今後の「二水会」開催予定

第62回：平成26年11月12日（水）15：00～
 於：鹿児島東急イン

第63回：平成27年2月4日（水）15：00～
 於：鹿児島東急イン

※二水会での発表を希望される企業の方は
 お気軽にご相談ください。

◆◆◆ 取引振興コーナー ◆◆◆

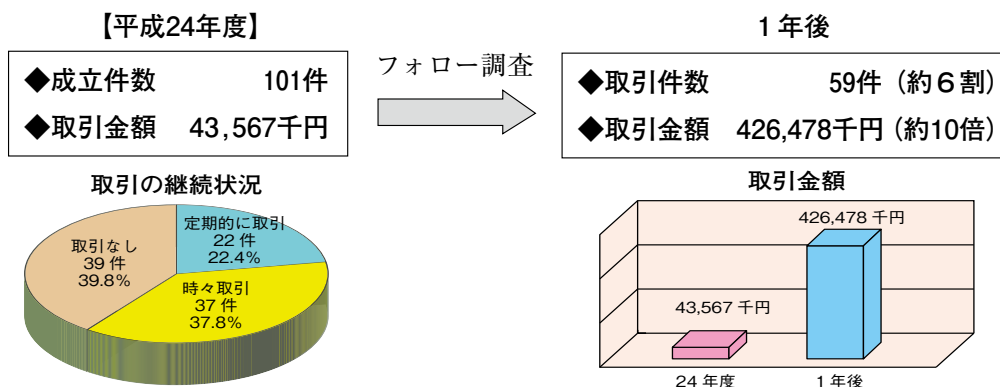
平成24年度取引成立案件の1年後フォロー調査結果

【1年後も6割が取引継続、取引金額は当初の約10倍に拡大】

(公財) かがしま産業支援センターでは、平成24年度に291件の「取引の紹介・あっせん」を行い、101件、金額で43,567千円の取引が成立しました。

これについて1年後の取引フォロー調査を実施した結果、定期または不定期で取引を継続しているものは、59件(当初取引の約6割)、取引金額は、426,478千円(当初取引の約10倍)となっていました。

調査結果



このように、当センターの「取引あっせん事業」は、県内中小企業の新規取引先の開拓や受注の拡大に大きく貢献しています。

なお、「取引あっせん件数」「成約率」ともに、全国の支援機関の中でも上位の実績となっており、今後も、県内中小企業の受注機会の拡大につながる効果的な「取引の紹介・あっせん」に努めてまいります。

平成26年度 かがしま取引商談会 (御案内)

県内外の発注企業を招へいし、県内受注企業との個別面談と企業訪問・工場見学を行う「かがしま取引商談会」を開催します。

商談会の詳細や参加申込み方法については、当センターのホームページに掲載します。

- ◆期 日 平成26年11月11日 (火)
- ◆会 場 ホテルウェルビューかごしま (鹿児島市)
- ◆主 催 ビジネスマッチング協議会
(公財)かごしま産業支援センター

◆内容等

- ・参加企業：発注企業 30社程度
受注企業 県内企業 60社程度
- ・対象業種：一般機械・金属・電気・電子関連企業等の製造業

- (1) 個別面談会 (11月11日) 指定面談方式(事前に組合せを指定)で実施
(交流会 面談会終了後 情報・意見交換、名刺交換)
- (2) 企業訪問・工場見学 (11月12日) 発注企業(希望者)による現地工場訪問



面談会風景 (昨年度)

【お問い合わせ先】(公財) かがしま産業支援センター 取引振興課

TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279 URL : <http://www.kric.or.jp>

Information

◆発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あつせんを行っています。あつせんのご希望がありましたらご連絡ください。

※九州合同発注開拓調査（1回目）で発注申込があつた一部を掲載しました。

なお、お手元に届くまでにあつせん済になっている場合もありますので、その際はご了承をお願いいたします。 **【お問い合わせ先】 取引振興課 TEL：099-219-1274 FAX：099-219-1279**

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	
					必要設備	材 料
1	栃木県	・自動車用サスペンション部品 (将来的)	協 議	プレス 溶接	マシニングセンター 鍛造プレス、溶接機 他	鉄鋼
2	愛知県	・自動車関係部品 ・インサート部品 ・樹脂成形品	協 議	プレス (20万個/月) 樹脂成形	同左加工設備 一式	SS 他
3	滋賀県	・工作機械用部品 (将来的)	多品種 少量	機械加工 (単品加工中心)	同左加工設備 一式	SS、S45C S50C、FC 他
4	大阪府	・機械部品 (将来的)	1～ 3,000個 程度	切削加工	NC旋盤 複合旋盤（チャックワーク パーフィーター仕様）	SS、SCM、SUS、真鍮 AL、チタン他
5	大阪府	・産業機械用部品 (将来的)	一品 一様	切削加工 研削加工	旋盤、フライス盤、研磨機 マシニングセンター 五面加工機 等	SUS AL 他
6	兵庫県	・省力化装置部品	1～ 5個	機械加工	縦型マシニングセンター NC横中グリ盤 他	SS、S45C、SCM44C SUS、AL
7	山口県	・食品加工機械部品 ・装置製作	少量 多品種	製缶板金 機械加工	TIG溶接、レーザー加工機 バフ研磨、NC旋盤 中グリ盤、五面加工機 等	SUS304
8	熊本県	・熱板圧空成形品 (将来的)	協 議	熱板圧空成形 フィルム断裁	熱板圧空成形機 フィルム断裁機 他	PCシート PCフィルム
9	熊本県	・省力化装置部品	協 議	配管 溶接加工	バンダー溶接機 バフ研磨機 他	SUS304
10	鹿児島県	・省力化装置部品 (将来的)	協 議	製缶板金 機械加工	製缶関連設備 五面加工機 他	SS SUS
11	鹿児島県	・省力化装置部品	協 議	機械加工 樹脂加工 板金加工	マシニングセンター 旋盤、レーザー加工機 他	SUS、AL POM、PVC
12	鹿児島県	・ダイキャスト部品 ・押し出し部品 ・大型プラスチック部品 ・マグネシウム部品 ・プレス部品	協 議	ダイキャスト 押し出し加工 射出成形加工 樹脂加工 プレス加工	同左加工設備 一式	AL、樹脂 マグネシウム SUS 他

第10回かごしま産業技術賞の募集

かごしま産業支援センターでは、鹿児島県内の企業等が最近3年間に開発した新製品・新技術を公募し、特に優れたものを表彰します。あなたの新商品や新技術をご応募ください。

【賞】 大賞（1点）・・・賞状、賞金50万円

奨励賞、特別賞（各1点）・・・賞状、賞金25万円

【対象者】 鹿児島県内に本社もしくは工場等を有する中小企業等（個人を含む）

【対象となる研究開発】 平成23年4月1日以降、原則として最近3年間に鹿児島県内で開発された新製品または新技術で、実用に供され本県産業の振興に寄与しているもの。

【募集・推薦期間】 平成26年9月1日（月）～10月31日（金）

【申込・問合せ先】（公財）かごしま産業支援センター 産学官連携課 担当：前野、久保

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学官連携推進センター 2F

TEL：099-214-4770 FAX：099-214-4771

情報 KISC SUMMER 2014

発行者：公益財団法人 かごしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL：099-219-1270（代表）

FAX：099-219-1279

E-mail：kisc@kric.or.jp

URL：http://www.kric.or.jp